

取扱説明書 **AD 10**

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



Japanese

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味：

警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業者や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本製品は、適用される EC 指令に準拠しています。

警告！高電流に注意。

環境マーク。製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示しています。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。

以上を守ることにより本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。

マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固有の各種基準に対応したものです。



警告レベルの説明

警告は三つのレベルで構成されます。

警告！



警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

注意！



注意！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周囲に損傷を与えたりする危険があることを意味します。

注意！

注意！取扱説明書の指示に従わない場合、材料やマシンに損傷を与える危険があることを意味します。

目次

目次

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味： 2

警告レベルの説明 2

目次

目次 3

概要

お客様へ 4

特長 4

概要

マシンの各部名称.....5

操作

マシンの安全装置.....6

組立と調整

操作

保護的な装備.....8

一般的な安全注意事項.....8

搬送と保管.....9

メンテナンス

メンテナンス 10

主要諸元

主要諸元 11

EC 適合宣言 11

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。 <http://www.jp.husqvarna.com/node1587.asp>

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社の製品をご購入いただくことで、専門的な修理と点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄のサービス代理店の所在地をお問い合わせください。

当社は、本取扱説明書がお客様のお役に立てることを願っています。説明書の記載内容 (使用方法、サービス、メンテナンスなど) に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を売却する場合、取扱説明書も購入者にお渡しするようにお願いいたします。

300 年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナはスウェーデンの企業で、その歴史は、スウェーデン王のカール 11 世が Huskvarna 川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイヤモンド工具などのグローバル・リーダーです。

使用者の責任について

マシンを安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。彼らは以下を確認する必要があります。

- ・ マシンの安全に関する説明事項。
- ・ マシンの用途や使用限度の範囲について。
- ・ マシンの使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

取扱説明書のあらゆる情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

特長

ハスクバーナの製品は、高性能、高信頼性、革新的技術、先進的な技術的ソリューション、および環境への対応など、様々な特長により、他社と一線を画しています。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

ドリルモーターの自動検知

この機能は、ハスクバーナ ドリルモーターのどの機種が接続されているかを検知するもので、ドリルモーターに過負荷がかからないように、使用されているドリルモーターに応じて作業の最適化が行われます。

簡単に迅速な自動送り機能

送り方向、速度、およびモーターの力は、一個のノブだけで簡単に操作できます。

最大送り速度は、上下共に 3.2 m/分 (ジャイロスタンド) です。

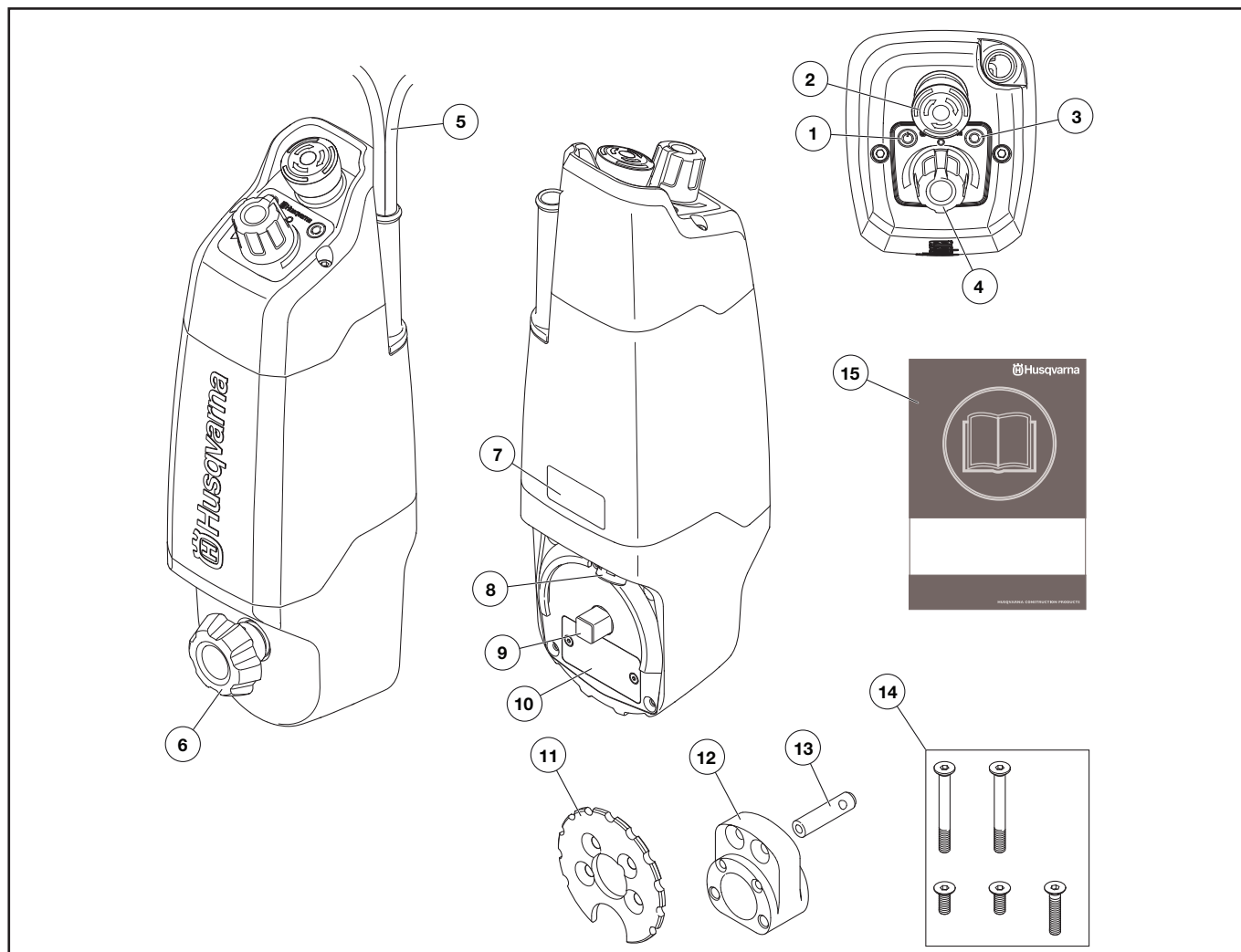
Gore-Tex® バルブ

GORE-TEX® バルブは、結露や水分から電気部品を保護します。

簡単な組み立て

スペーサーとクイックマウンティングを使用することで、スタンドのギアボックスヘフィードユニットを簡単に組み込むことができます。フィードユニットは、スタンドのどちら側にも組み込むことができます。

概要



マシンの各部名称

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1 電源ボタン (ON/OFF) | 9 アセンブリシャフト |
| 2 緊急停止 | 10 マシンプレート |
| 3 LED ランプ (ON/OFF) | 11 クイックマウンティング |
| 4 ポテンショメーター | 12 スペーサー |
| 5 二股電源ケーブル (入力電源ケーブルとドリルモーター用電源ケーブル) | 13 ピン、スペーサー (DS 450 と共に使用) |
| 6 ノブ、組み立て用 | 14 ネジ |
| 7 警告ラベル | 15 取扱説明書 |
| 8 GORE-TEX® バルブ | |

マシンの安全装置

一般注意事項



警告！取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周囲に損傷を与える危険があることを意味します。

ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

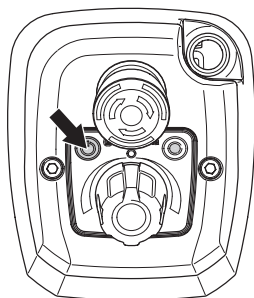
この項目は、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。

電源ボタン (ON/OFF)

電源ボタンは、フィードユニットの始動や停止に使用します。

電源ボタンの検査 (ON/OFF)

- 電源ボタンを押します。LED が点灯し、フィードユニットが動作していることを示しています。



- 電源ボタンを押して、フィードユニットを停止します。

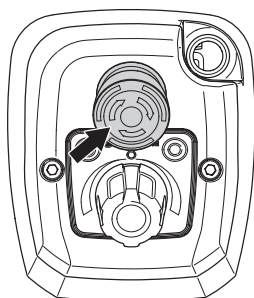
電源ボタンが壊れている場合、認定を受けているサービス代理店で交換するようにしてください。

緊急停止

緊急停止は、フィードユニットとドリルモーターの電源をすぐに切るために使用します。

緊急停止のテスト

- スタンド上にドリルモーターとフィードユニットを組み込みます。「組立と調整」の説明を参照してください。
- フィードユニットにドリルモーターを接続します。
- フィードユニットとドリルモーターを始動します。詳細は、「操作」を参照してください。
- 緊急停止を押して、フィードユニットとドリルモーターが停止することを確認します。



- 緊急停止ボタンを解除します (時計方向に回転)。

組立と調整

組立



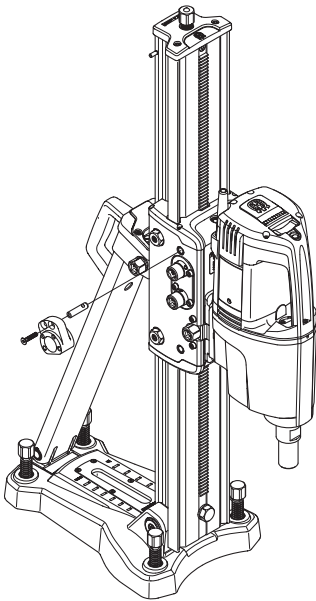
警告！電源ケーブルをコンセントから抜いて、マシンの電源を完全に切るようにしてください。



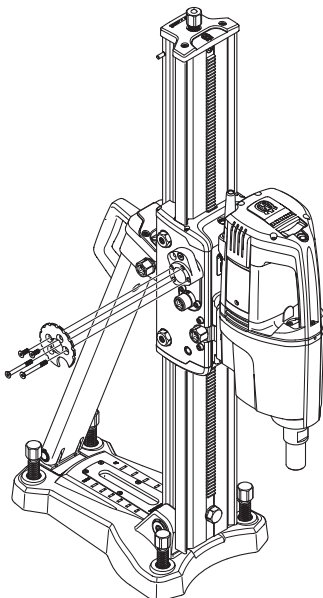
注意！フィードユニットがスタンドに取り付けられたら、クランクをギアハウジングから外します。不注意により、重大な傷害を引き起こすことがあります。

ドリルマシンとドリルビットがエンドストップ側に落ちないように、フィードユニットをゆるめる前にフィードハウジングを常にロックしてください。不注意が重大な人身事故の原因となることがあります。

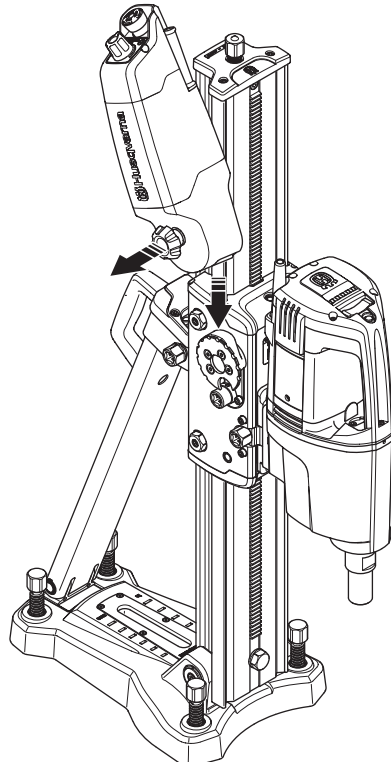
- ・ フィードハウジングロックをロックします。スタンドに関するご質問については、取扱説明書を参照してください。
- ・ フィードユニットは、スタンドのどちら側にも組み込むことができます。
- ・ スペーサーを組み込みます。



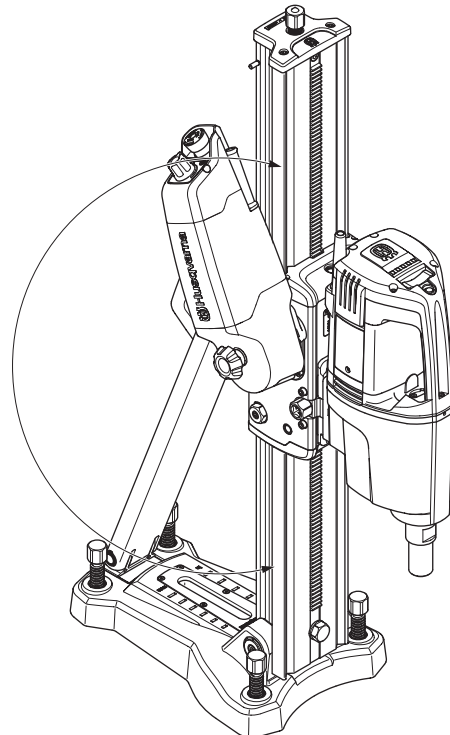
- ・ クイックマウンティングを組み込みます。



- ・ 組み込み用ノブを引っ張りながら、フィードユニットをクイックマウンティングへ誘導します。



- ・ ノブを放し、次にフィードユニットが正しい位置に収まるまでノブを回転します。
- ・ フィードユニットは、あらゆる角度で組み込むことができます。



- ・ ドリルモーターをフィードユニットへ接続し、入力用電源ケーブルをコンセントへ差し込みます。

保護的な装備

一般注意事項

- ・ 事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

使用者の身体保護具

本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。



警告！材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質をチェックして、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら直ぐにイヤマフを外すようにしてください。

常に下記のものを着用してください。

- ・ 承認されたヘルメット
- ・ イヤマフ
- ・ 認可された視覚保護具 防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合しなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合しなければなりません。
- ・ 呼吸マスク
- ・ 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- ・ 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。
- ・ つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴。

衣服や長髪、宝石類が稼働部品にからまることがあるため、注意してください。

使用者の身体保護具



注意！マシンでの作業中、火花や火が発生することがあります。常に、消化装置をお手元に装備してください。

- ・ 消火器。
- ・ 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項



警告！安全上の警告とすべての取扱説明書に目を通してください。警告や取扱説明書に従わないと、感電や火災、重大な傷害につながる可能性があります。

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- ・ 本機をご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。
- ・ 本機は、他の製品と組み合わせて使用します。製品に添付された取扱説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- ・ 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- ・ 使用者はマシンの取扱い講習を受けている必要があります。所有者には使用者に講習を受けさせる責任があります。
- ・ マシンは清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！



警告！不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業員や周囲の人などに、深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。

子供やマシンの扱いに不慣れな人間にマシンを使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。



警告！承認のない変更および/または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくマシンの設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。

操作

職場の安全

- ・ 作業場は片付いた明るい状態に保ちます。散らかっていたり暗い場所は事故の原因となります。
- ・ 周囲の状況をチェックして、マシン使用に影響があるものを除去してください。
- ・ 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- ・ 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、マシンを始動させてはいけません。
- ・ 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- ・ 配管や電気ケーブルが、作業現場や切断する材料を通っていないことを確認してください。

電気保安



警告！電気で動くマシンには常に感電の危険があります。好ましくない天候条件を避け、避雷針や金属と体が接触しないようにしてください。被害を防ぐために、取扱説明書の説明に必ず従ってください。



警告！マシンを水で洗浄しないでください。水が電気系統やエンジンに入るとマシンが破損したり、ショートの原因となります。

- ・ 30 mA の接地故障で作動するものなど、常に個人保護機能の付いた漏電遮断器を通じてマシンを接続してください。
- ・ 接地された壁コンセントにマシンを接続しないでください。
- ・ メインの電圧がマシンの銘板に記載されたものと一致していることを確認します。
- ・ コードと延長コードが良好な状態で傷がないことを確認します。常に屋外での使用が認められている延長コードを使用してください。
- ・ コードやプラグが破損している場合は、決してマシンを使用せずに、公認サービス店に修理を依頼してください。
- ・ オーバーヒートを防ぐために、延長コードを巻いた状態で使用しないでください。
- ・ コードを持ってマシンを引っ張ったり、コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- ・ コードや延長コードは水やオイル、尖ったものに近づけないでください。コードをドアやフェンスなどにはさまないように注意してください。コードをはさむと通電する恐れがあります。

個人の安全

- ・ 疲れているときやアルコールを飲んでいる場合や、視力や判断力、身体の動作に影響する薬を服用しているときはマシンを使用しないでください。
- ・ モーターの稼働中はマシンから目を離さないでください。
- ・ 長時間の休憩時には常にマシンの電源を抜いてください。
- ・ 決して1人では作業せず、近くにもう1人誰かがいるように徹底してください。マシンの組立てで手を借りられるだけでなく、事故が発生したときに助けを求めることができます。
- ・ 人や動物によって注意散漫になり、マシンを制御できなくなることがあります。このため、雑念に気をとられず常に作業に集中してください。
- ・ 常に緊急停止に楽に手が届くような状態で作業してください。

使用と手入れ

- ・ マシンは業務用であり、経験のある使用者が利用することを意図しています。
- ・ 点検とメンテナンスは、モーターの電源を切り、電源を外した状態で行う必要があります。
- ・ ドリルマシンとドリルビットがエンドストップ側に落ちないように、フィードユニットをゆるめる前にフィードハウジングを常にロックしてください。
- ・ マシンが過負荷にならないようにしてください。過負荷になると破損する恐れがあります。
- ・ マシンを移動する前には常に電源をオフにしてください。
- ・ すべての接続部や接続、コードが清潔な状態で汚れていないことを確認してください。
- ・ マシンを始動する前に、すべてのコードと水の供給ラインがマシンに接続されていることを確認してください。
- ・ 先に電源バックをオフにしてエンジンが完全に停止するまでは決して電源コードを引き抜かないでください。何らかの緊急事態が発生したときは、赤の緊急停止ボタンを押してください。
- ・ すべての部品を良好な状態に保ち、すべての付属品が正しく締められているか確認します。

基本的な作業方法

ポテンショメーター機能

- ・ ユニットは、ポテンショメーターを一方向または他方向へ回転させることで、支柱にそって上下へ送られます。
- ・ ユニットの電源が入っても、ポテンショメーターがゼロ位置になってなければ、ノブがゼロ位置へ達するまでユニットの送りは開始されません。
- ・ ポテンショメーターを回転させて、負荷を設定します。230V 仕様の場合、1-18A の範囲で、110V 仕様の場合、1-28A の範囲で調整できます。

保護機構と自己制御機能

通常動作から外れた異常事態が発生した場合、LED が高速に点滅して利用者の注意を促します。これは、例えば、モーター温度が高温すぎる場合、過負荷状態になった場合、あるいは、ドリルモーターが加工物を通過して、ユニットが送りを停止した場合、発生することがあります。

LED が素早く点滅しているときは、ドリルモーターは使用できません。フィードの電源供給能力は、ポテンショメーターをゼロの位置に合わせれば有効にすることができます。こうすると LED がゆっくり点滅します。電源スイッチをもう一度押してフィードユニットを停止します。通常モードに戻るには、ユニットを完全に停止する必要があります。

- ドリルがコンクリートを通る際、パワーダウンします。ある一定時間の間、パワーが、ある値よりも下回っている場合、ユニットは自動的に下への送りを停止し、ドリルモーターの電源を切ります。
- ユニットのフィードモーターへの電力が高すぎて過負荷になりそうな場合、フィードユニットは停止します。これは、直径が 100 mm 未満のドリルビットを装着していたり、非常に柔らかいコンクリートにドリルを使用している場合や、間違ったアセンブリの使用時やフィーダーハウジングが支柱に対して起伏がある場合に起こる可能性があります。送りの速度を変更して、ドリルモーターが過負荷とならないようにしてください。

始動と停止

始動前に

- マシンが正しく組み立てられており、損傷の形跡がないことを確認します。「組立と調整」の項にある指示を参照してください。
- 緊急停止ボタンを時計回りに回して、ボタンが押されていないことを確認します。
- ポテンショメーターがゼロ位置になっていることを確認します。

始動

- 電源ボタンを押します。LED が継続して点灯し、ユニットのコンセントに電圧があることを示します。

注意! これは漏電遮断器の取り付けられたドリルマシンに該当します。マシンの漏電遮断器が作動した場合、この時点で漏電遮断器をリセットできます。

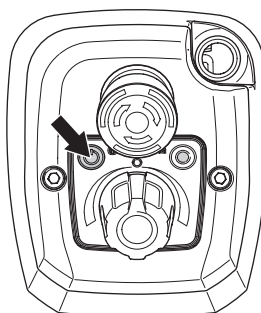
- ドリルモーターを始動します。使用されているドリルモーターに関するご質問については、取扱説明書を参照してください。
- ポテンショメーターを希望する位置まで回転させて、送りを開始します。
- ドリルモーターが過負荷インジケーターを装備している場合、過負荷を目視で確認しながら正しい送り速度を設定できます。
- 使用の最適化を図るには、正しい送り速度を設定したら、マシン自身にその作業を委ねるように作業するべきです。

停止

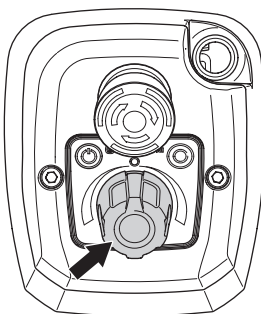
- 電源ボタンを押して、フィードユニットを停止します。

搬送と保管

- 装置を動かす前には、常にフィードユニットの電源を切って電源コードを抜いてください。



- 装置の収納には付属のケースを使用してください。
- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかり固定してください。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。
- マシンおよび装置は乾燥した寒さに耐えられる場所に保管してください。



- マシンを 45°C 以上の温度または直射日光にさらさないようにしてください。

一般注意事項



警告！使用者は本取扱説明書に記載されている点検とサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

ストップスイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ・ マシンの安全機能を定期的に点検します。詳細は、「マシンの安全装置」を参照してください。

清掃

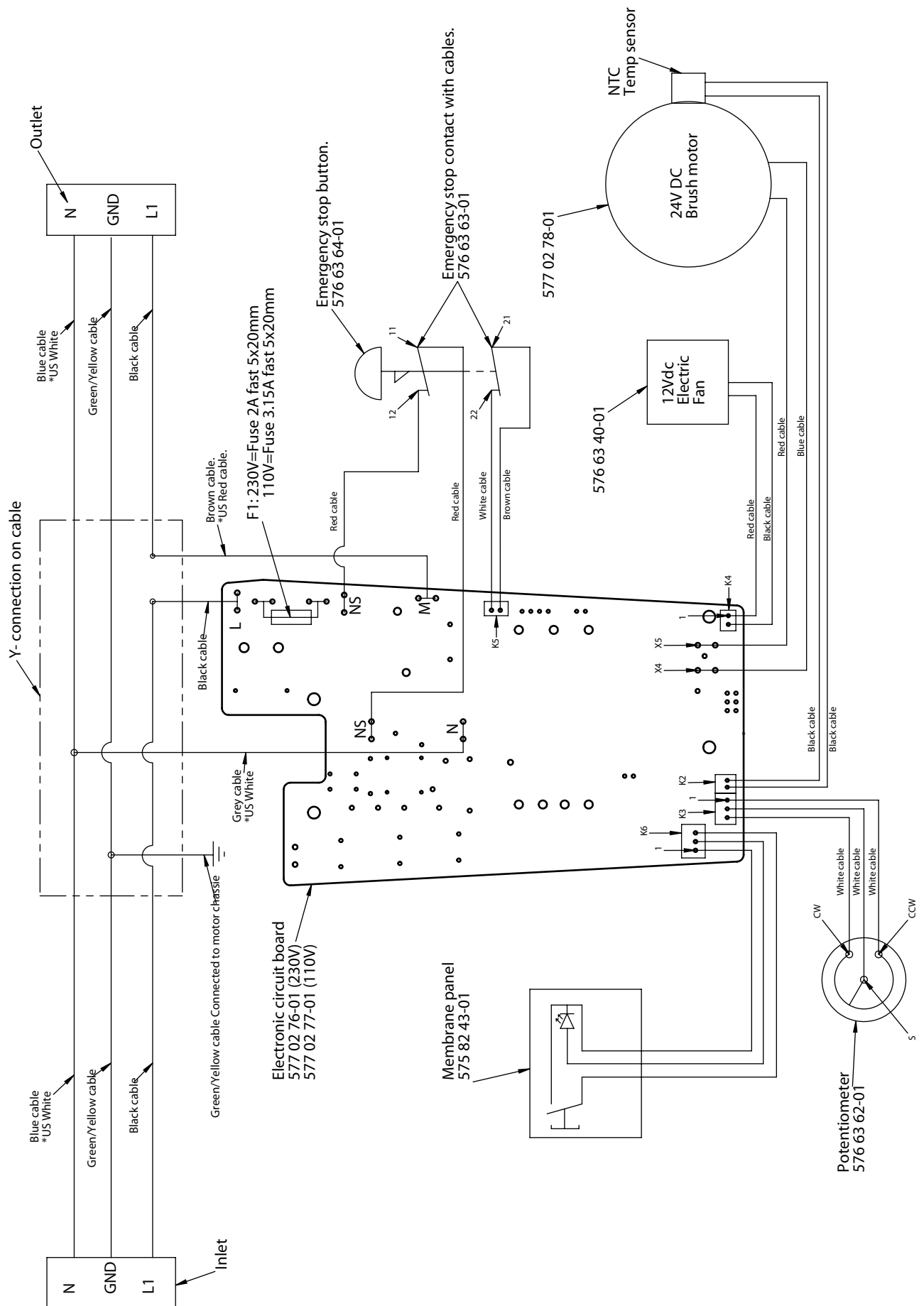
- ・ マシンの外側を清掃します。ウエスやブラシで清掃します。
- ・ マシンの清掃には高圧水を使用しないでください。

主要諸元

主要諸元

定格電圧、V	230 (50/60 Hz)
	110 (50/60 Hz)
定格出力、W	80
定格電流、W	
230 V	0,6
110 V	1,25
保護規格	IP 65
重量、kg/lbs	3,7/8.2
最大、ドリルビット直径、mm/inch	450/18
最大送り速度は — m/分	3,2

配線図



取扱説明書（オリジナル）

1154150-79 Rev. 2



2014-09-08